

福祉・子育て



合志市食生活改善推進員協議会

「私たちの健康は私たちの手で」を合言葉に、食を通して健康づくりを推進。現在、48人の会員が親子料理や郷土料理教室、イベントでの炊き出し、手作りおやつ配布など、年間を通して多くの活動に取り組んでいます。また、市の特産品を使った健康食レシピ集の作成や、地産地消の推進活動も実施。

環境美化



下町老人会

昭和39年の発足から50年間にわたり、毎月1日と15日に下町天満宮を清掃し、地域の環境美化に努めています。また、ホウキグサを収穫して昔ながらの草ぼうきや竹ぼうきを作るなど、地域の文化伝承にも一役買っています。

まちづくり

ヴィーブルくん

平成7年、総合センター“ヴィーブル”開館の年にタケノコをモチーフにしたマスコットキャラクターとして誕生。地道にPR活動を続けてきました。その後、ゆるキャラブームの波に乗って活動範囲を広げ、現在は県内外問わず活動し、合志市のPRを行なっています。

自治基本条例をご存じですか

市では、自治基本条例に基づいて「参画と協働によるまちづくり」を進めています。ボランティア活動もその一つです。

“みんなですめるまちづくり”
自治基本条例



福祉・文化



合志奇術クラブ

毎月2回野々島公民館で活動しています。平成5年の発足と同時にボランティア活動もスタート。「不思議な世界をつくり出すことで、見ている人に少しでも元気と勇気を与えることができれば」という思いで子ども会や老人ホーム、施設などで積極的にマジックを披露しています。

福祉・文化



合志市白鶴会

平成11年から、メンバー10人が分担して月に8回ほど、市内の福祉施設で利用者と一緒に太極拳（気功や車椅子太極拳）を行なっています。休憩時間には講師による演舞も披露。利用者の皆さんとの交流を積極的行なっています。

福祉



永江ふれあいサロン

平成6年に地域の有志で高齢者の訪問による安否確認活動をスタート。平成15年から永江ふれあいサロンとして公民館などを利用して各種イベントを開催し、高齢者の交流の場をつくっています。毎回、会の締めくくりには、ボランティアの皆さんの手作りによる昼食会も実施しています。

団体の部

ボランティアとは、誰もが人間らしく豊かに暮らしている社会を目指し、それぞれの身近なところで「自分にできること」を考え自ら行動することです。市内でも多くの個人・団体が、自分にできることを自分にできる範囲で行ない、地域のお手伝いや生き甲斐のある充実した日々を目指して活動しています。

11月7日にカントリーパークで行なった市秋まつり内では、ことしもボランティア表彰式を開催し、長年活動している個人や団体の功績をたたえました。

ボランティア表彰制度とは
市自治基本条例にうたわれている市民や市議会、行政の三者による「協働」を市民の責務として実践しているボランティア活動に対し、感謝の気持ちを表して表彰するものです。市民の皆さんにボランティア活動の輪が広がっていくことを願って創設しました。

ボランティアで
周りも自分も
みんな笑顔に。



環境美化



吉田 義一さん（辻）

平成17年以降、辻区内の道路沿い約500mを毎月2～3回、2～3時間かけて除草清掃しています。時には道路に倒れ掛かる孟宗竹や枯れた枝木なども撤去。また、平成22年頃より野々島の本村区からユーパレス弁天への道路沿いにある自分の畑に苗から育てた花を植え、道行く人を和ませています。

福祉



西村 弥生さん（栄温泉団地）

平成13年に栄温泉団地でいきいきサロンを設立し、地域の女性高齢者に参加を呼びかけ交流を後押し。その後、14年間リーダー的存在として高齢者の福祉増進に力を注いでいます。また、高齢者と若年婦人層の親睦を深めるための旅行も実施。高齢者の陶芸・手芸なども積極的に指導、協力しています。

個人の部

今月の表紙



11月7日、秋まつりとともに、農業公園カントリーパークで行なわれた合志市ウォーキング大会。親子で5*コースに参加してくれた上床修弘さん・貴子さん・新くんご家族（みずき台）。ニコリ笑顔で仲良くスタートを切りました。関連の記事は4～5ページに掲載しています。

今月の主な話題

合志市誕生10周年記念 合志市秋まつり……………	4
明るい選挙推進協議会 新しい委員を紹介します ……	6
自分のため、大切な人のために 乳がん検診を受けましょう……………	7
市役所・各施設の年末年始の閉庁日・休館日……………	15
平成28年度 合志市非常勤職員募集……………	21